

RICOH
Value
Presentation
2025

DX & GX ~ AI

RICOH
imagine. change.

壁を壊せ 動き出せ

私たちの前には、社会課題という「壁」が立ちはだかっています。
労働人口の減少、旧態依然としたシステム、環境問題など、
その「壁」は多岐にわたります。

本イベントでは、経営者・経営幹部・事業責任者の
皆様に寄り添い、デジタルサービスやAIの力を通じて、
それらの壁を共に乗り越えていくことを
目指しています。

DXやGXを通じて、
持続可能で力強い未来を、
ともに実現していきましょう。

開催場所：東京国際フォーラム

2025.7.1 Tue — 7.2 Wed 9:30–17:30
17:00 受付終了

リコージャパン株式会社 / デジタルサービスパートナー

RICOH Value Presentation 2025

DX・GXの推進とAI活用のための パーソナルトレーニング

変化を阻むあらゆる課題となる「壁」はさまざま。

リコージャパンは一人ひとりの状況に寄り添う伴走型の支援で、お客様が想い描くゴールを共に目指していきます。本イベントでは、DXやGXを進めていくために、AIなどのさまざまなテクノロジーを活用し、変革を起こすヒントが見つかります。

あなたの企業にマッチした「パーソナルトレーニング」に挑戦し、ここから動き出しましょう！

本イベントのイメージ映像を
ご覧いただけます



ごあいさつ



リコージャパン株式会社
代表取締役 社長執行役員 CEO

笠井 徹 カサイトオル

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

このたび RICOH Value Presentation 2025を開催する運びとなり、ご案内申し上げます。

昨今、社会課題により複雑化する経営環境の中、労働人口の減少、高度化するセキュリティの脅威、脱炭素の推進など様々な課題が「壁」として立ちはだかっています。そしてその「壁」を打破するため、新たなチャレンジが企業に求められています。

こうした中で、私たちリコージャパンもお客様と共に「壁を壊す」べく、“パーソナルトレーニングジム”をコンセプトとした新たなValue Presentationにチャレンジします。お客様一人ひとりの課題解決に寄り添う“パーソナルトレーナー”として皆様が「動き出す」ための伴走をさせていただきます。

本イベントでは、現代ビジネスの中核をなす“DX・GX～AI”をテーマに、各業界をリードする識者による講演や、これまでのスタイルを一新した展示・体験ゾーンをご用意しました。お客様の“はたらく”に寄り添い続けてきたリコージャパンだからこそお届けできる、新たなコンセプトで開催するValue Presentationを是非ご体感ください。

皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

敬具

各会場のご案内

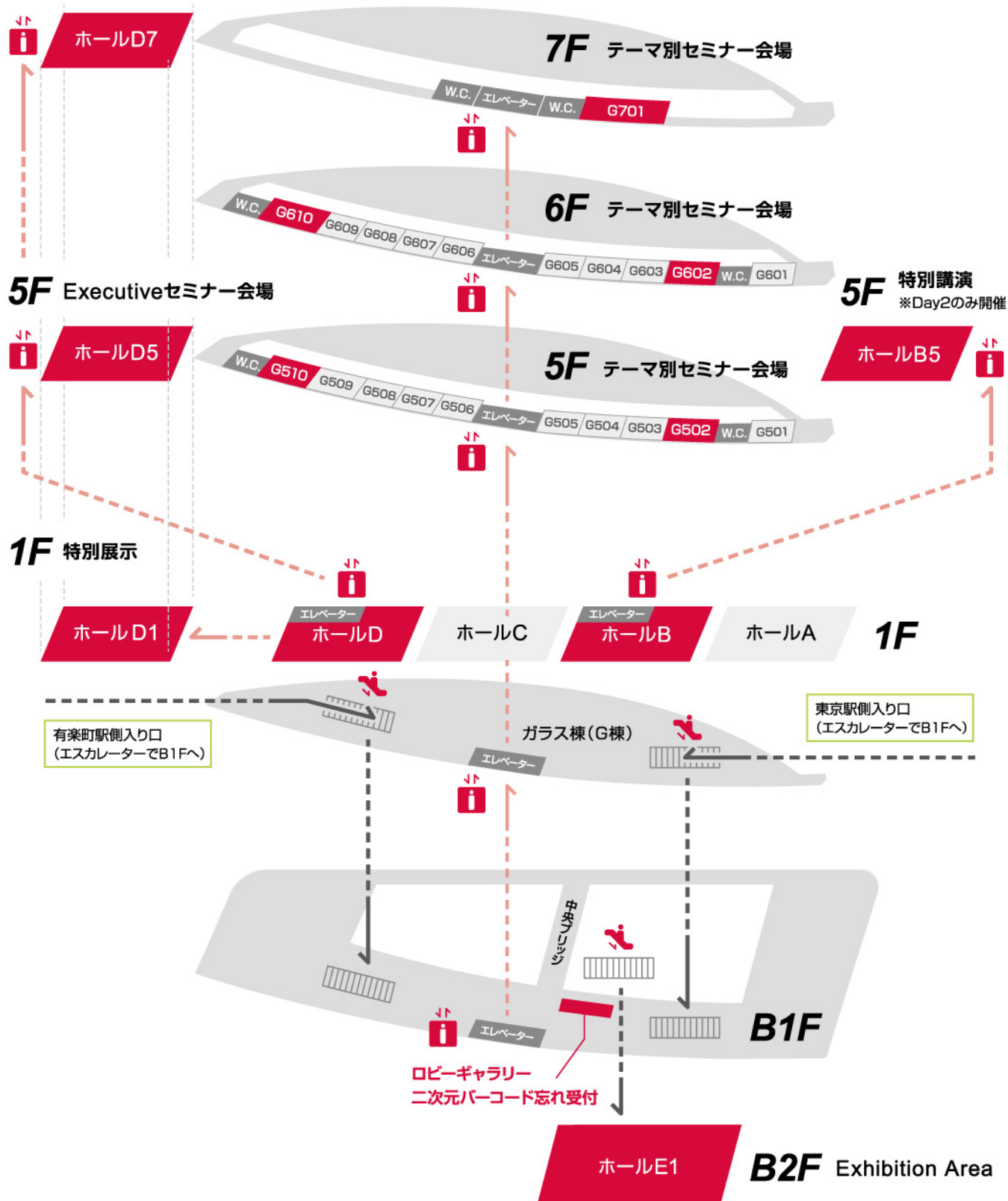
事前に参加登録いただいた方は入場用二次元バーコードをご持参の上、
セミナー会場、Exhibitionエリアの各受付へ直接お越しください。

※入場用二次元バーコードは、事前にメールにてご案内いたします。印刷してお持ちいただくか、スマートフォン等で表示をお願いいたします。

※入場用二次元バーコードをお忘れの方はB1Fロビーギャラリーにて再発行いたします。

7F 基調講演・Executiveセミナー会場

※基調講演はDay1のみ開催



Seminar セミナー概要

業界のトップランナーが「スペシャルインストラクター」として登場し、最先端の知識や実践的なノウハウを伝授！
DX・GX・AIをテーマにしたExecutiveセミナーでは、各界の著名人がビジネス戦略を指南。
さらに、テーマ別セミナーでは、Exhibition(展示)エリアと連動するテーマを中心に具体的な解決策をご紹介します。
ここでしか得られない知見を吸収し、あなたの企業のビジネス力を鍛えましょう！

基調講演 事前予約制

Day.1 — 7.1 Tue

10:00～11:20

D7-1-1 / 会場: ホールD7

リコーの人経営 ～DX&GXへの取り組み～

リコージャパンは、お客様が社会課題を打破するための伴走支援を行い、DXやGXを進めることで持続可能な社会をお客様と共に実現することを目指しています。

本講演では、リコーが実際に行った社内デジタル革命の取り組み、また環境経営を中心にESGの実践事例をご紹介します。

共通するキーワードは「社員のモチベーション」。“人”経営をポリシーとするリコー会長・山下による改革をお伝えいたします。



株式会社リコー
取締役会長

日本気候リーダーズ・
パートナーシップ(JCLP)
共同代表

山下 良則 ヤマシタ ヨシノリ

DX

13:00～14:20 D7-1-2 / 会場: ホールD7

世界の経営学から見る、 日本企業とDXへの視座

近年、様々な業界で生成系AIの活用とDX推進が重要視され、日本企業の経営にとっては避けては通れない経営課題となっております。しかしながら「なぜ必要なのか」「どう経営に活かせばいいのか」という、真の理解が十分には浸透していません。本講演では、世界の経営学の知見を使いながら、生成系AI・DXの方向への示唆、データ経営について考えていきます。



早稲田大学大学院経営管理研究科/
早稲田大学ビジネススクール
教授

入山 章栄 氏 イリヤマ アキエ

GX

15:00～16:20 D7-1-3 / 会場: ホールD7

脱炭素時代のGX経営戦略 ～国際潮流を掴み 日本発でグローバルNo.1を目指す～

世界的な脱炭素化が加速する今、企業にとってGX(グリーン・トランスフォーメーション)経営の実践は、持続的成長のための必須要件です。本講演では、脱炭素経営の最新動向と各国の政策的背景を踏まえ、GXがいかに企業の競争力を高め、企業価値向上に繋がるかを解説。国際潮流を掴むための具体的な戦略・方針をお伝えいたします。



アスエネ株式会社
Founder & 代表取締役CEO

西和田 浩平 氏 ニシワダ コウヘイ

AI

13:30～14:50 D5-1-1 / 会場: ホールD5

進化し続けるAI人工知能の今、 生成AIからAIエージェントへ

まだまだ進化を続けるAI技術。2022年末以降、Chat GPT/Copilotをはじめとする生成AIの登場により、私たちの仕事の進め方は大きな転換期を迎えています。企業における人材不足解消や業務効率化、新規事業開発など、さまざまな成長の原動力となる可能性を秘めています。そして考えるだけではなく行動までも実現するAIエージェントへと進化します。AIエージェントが既存のビジネスプロセスを変革する例を紹介し、企業の経営にもどのようなインパクトを与えるのかを解説いたします。



日本マイクロソフト株式会社
業務執行役員・エバンジェリスト

西脇 資哲 氏 ニシワキ モトアキ

AI

DX

15:30～16:50 D5-1-2 / 会場: ホールD5

セールスイネーブルメントとは ～「みんなが売れる営業」になるために～

営業担当者の能力と成果を最大化する「セールスイネーブルメント」。本講演では、「みんなが売れる営業」になるための営業支援メソッドとして注目される全体像と、その実現に必要な「ナレッジ」「ワーク」「ラーニング」「ピープル」の4要素について解説いたします。さらに、様々な業種の大手企業様で導入されている営業支援ツール「ナレッジワーク」の具体的な活用方法と、導入企業での成果事例、そして営業活動をさらに進化させるAI活用についてもご紹介いたします。



株式会社ナレッジワーク
代表取締役CEO

麻野 耕司 氏 アサノ コウジ

15:20～16:40

B5-2-1 / 会場: ホールB5

スポーツに学ぶマネジメントと組織力

野村監督の下でプレーした経験やプレイングマネージャーとしての経験を基に、チームマネジメントやリーダーシップ・上司と部下の在り方・モチベーションの保ち方など、またチームづくりや心と身体のケアなどについてお話しいたします。選手として、監督として、日本プロ野球界で活躍してきた数々の経験から、ビジネスにも応用できる、チームの組織力やマネジメントに関して幅広くお伝えいたします。



元プロ野球選手
スポーツコメンテーター

古田 敦也 氏 フルタ アツヤ

Executiveセミナー 事前予約制

10:00～11:30

D7-2-1 / 会場: ホールD7

DX

経営戦略としての働き方改革 ～ワーク・エンゲージメントと 生産性向上を考える。 3,000社のコンサル実績から事例を紹介～

人手不足や離職防止、生産性向上は経営課題です。4月施行の介護休業制度改正や男性育休の普及を受け、誰が休んでも業務が回る組織づくりが求められています。

3,000社の支援実績から、労働時間を削減しつつ業績・採用力を高めた事例と、明日から実践できる働き方改革・マネジメント手法をご紹介します。



株式会社ワーク・ライフバランス
代表取締役社長

小室 淑恵 氏 コムロ ヨシエ

13:00～14:20

D7-2-2 / 会場: ホールD7

AI

日清食品グループが推進する 生成AI時代のデジタル武装戦略

日清食品グループでは、2030年に向けた中長期成長戦略の実現に寄与するため、グループ全体でデジタル化施策を強化しています。新たなデジタル部隊を組成し、生成AIを活用して業務生産性の向上を目指し、さらにAIエージェントによる業務プロセスの革新を進めるためのユースケースづくりに注力しています。これらの全社的な「デジタル武装」戦略と、現在進行形で進捗している具体的な取り組みについてご紹介いたします。



日清食品ホールディングス株式会社
情報システムプラットフォーム
執行役員CIO グループ情報責任者

成田 敏博 氏 ナリタ トシヒロ

AI

15:00～16:20 D7-2-3 / 会場: ホールD7

生成AI時代を生き抜くために 必要なマインドセット

DXという言葉がスウェーデンで生まれてから早20年。今でも日本ではビジネスシーンのホットワードであり続けています。生成AIの発展のスピードがさらにアップしている昨今、DXについて改めて考える機会にしましょう。



株式会社圓窓
代表取締役

澤 円 氏 サワ マドカ

AI

10:30～11:50 D5-2-1 / 会場: ホールD5

リコーからみたAIの現実: 技術とビジネスの最新動向

本講演では、リコーにおけるAI技術の最新動向とそのビジネス利用について、技術視点とビジネス・市場視点の2部構成でパネルディスカッション形式で深掘りいたします。技術側の専門家がAIの革新と技術的課題について議論し、販売側の責任者がAIのビジネスへの影響と可能性についてご紹介いたします。事前に参加者から寄せられた質問に対して回答しながら進行し、具体的なAIの導入事例を交えながら、AI市場の現状について共有いたします。



株式会社リコー
リコーデジタルサービスBU
AIサービス事業本部
本部長
梅津 良昭 ウメツ ヨシアキ
デジタルサービス企業本部
AIサービス事業センター
センター長
児玉 哲 コダマ サトル

DX

13:30～14:50 D5-2-2 / 会場: ホールD5

～競争から共創へ～ 非顧客を顧客化するフロンティア戦略

～フロンティア～未開の地を発見し、恐れることなく乗り込んでいくことを意味します。社会や顧客の価値観が同期化して劇的な転換をしている今、至る所で新しい需要が湧き出ています。従来のマーケットや既存の顧客だけをターゲットとしているだけでは、成長へのチャンスを逃すだけでなく、ライバルからも出遅れてしまう競争環境といえます。成長へのキーワードは「非顧客の顧客化」。今まで自社が目をつけていなかった未開のマーケットに向けて、積極果敢に挑戦していこう!! …こんな思いを、この戦略コンセプトに込めています。



株式会社
タナベコンサルティンググループ
専務取締役

藁田 勝 氏 ワラタ マサル

GX

15:30～16:50 D5-2-3 / 会場: ホールD5

「GXによる企業競争力の 強化と持続可能な未来」

地球沸騰化 待ったなし!

地球温暖化?気候変動?いや地球沸騰化!気候危機!世界の大きな脱炭素化のうねり、加速。一方ここへきての地政学的な逆風もあり足踏み?企業が何故気候アクションするべきなのか、社会課題解決に貢献し持続可能な未来を実現するという大義!だけではなく同時に、事業成長の観点でのビジネスリスク回避・ビジネス機会拡大のため、日本経済の成長・国際競争力アップ・エネルギー強靱化のため、大手企業に留まらず中小企業も全て自分事の課題です。何もしなければどうなる?何をすれば良いのか?そんな疑問を皆さんと考えたい。



気候変動イニシアティブ
共同代表
加藤 セルジオ茂夫 氏
カトウ セルジオシゲオ

テーマ別セミナー

事前予約制

Day.1 — 7.1 Tue

10:00～10:50

体幹強化

G502-1-1 / 会場:G502

**採用難の現代で
選ばれる会社に
～人材確保と定着率向上を
実現させる3つの方法～**

人材確保が難しい現代において、「選ばれる会社」になるための3つの方法をわかりやすく解説いたします。人手不足が常態化する中、優秀な人材を確保できなければ、企業の成長どころか存続すら危ぶまれる時代です。「採用してもすぐ辞める」「そもそも応募が来ない」など、多くの中小企業が抱える課題に対し、本講演では「採用」「育成」「労務管理」の3つを軸に、選ばれる工夫、人材が育つ仕組み、長く働きたくなる職場環境づくりについて、具体的な事例を交えながらご紹介。経営者が今すぐ実践できるヒントをお届けいたします。

株式会社エフアンドエム
営業推進本部
本部長

加藤 丈侍氏 カトウ ジョウジ

11:30～12:20

スピード強化

G502-1-2 / 会場:G502

**DX推進の鍵！
RICOH kintone plusと
生成AIで実現する
デジタル化と業務改革**

RICOH kintone plusとは表計算ソフトよりも快適に、専門システムよりも柔軟に、自社でシステムを開発するよりスピーディー＆低コストに、「サクッと」思いついた業務改善をすぐに実行できるクラウド型の業務アプリケーションツールです。本講演では、RICOH kintone plusの最新情報やDX事例をご紹介します。また、専門知識がなくても生成AIの活用により、kintoneのアプリケーションが簡単に作成できる機能や、アプリケーションに登録するデータを自動で生成する機能もご紹介いたします。

株式会社リコー

リーダー
永塚 真吾 ナガツカ シンゴ

深野 恵子 フカノ ケイコ

13:00～13:50

スピード強化

G502-1-3 / 会場:G502

**DXに向けて
デジタイゼーションから
始めましょう!!
～ペーパーレスの実践方法教えます～**

DXの推進には『デジタイゼーション』～『デジタライゼーション』へのステップを踏むことは不可欠です。『デジタイゼーション』の第一歩として、まずは紙で管理していた書類のデジタル化、ペーパーレス化から始めませんか？ただし、ペーパーレス化について、何をどこから始めて良いかわからないケースが多いのではないのでしょうか？本講演では現有文書の可視化に基づいた文書運用の仕組み（ルール）の構築などリコーの実践事例を交えてペーパーレスの実践方法をご紹介します。

リコージャパン株式会社
デジタルサービス企画本部
MDS事業センター
MDS営業部 マーケティンググループ

下田 昭司 シモダ ショウジ

14:30～15:20

筋力強化

G502-1-4 / 会場:G502

**プロセス・IT・データ
三位一体で取り組む
DXの社内実践**

OAメーカーからデジタルサービスの会社への変革を目指し、そのための重要な戦略の柱の一つとして「オペレーショナルエクセレンス戦略」を掲げているリコー。この戦略実現をプロセス・IT・データの三位一体で実現すべく、2024年4月に新体制を立ち上げました。本講演では、リコーにおける「プロセスDX」の取り組みの全体像やデジタル技術×データ活用によるプロセス変革の実践内容、生成AI等のデジタルツール活用について、いくつかの事例を交えながらご紹介いたします。

株式会社リコー
デジタル戦略部
プロセス・IT・データ統括 DX企画室
室長

足澤 篤史 タルサワ アツシ

16:00～16:50

柔軟性強化

G502-1-5 / 会場:G502

**『巨大地震から
社員を守る室内安全対策』
～企業に求められる安全配慮義務～**

「何故、巨大地震に対応できる室内安全対策をしなくてはならないのか」といった基礎知識から、東日本大震災の判例に基づき、企業に求められる労働契約法第5条 従業員の安全配慮義務の視点を踏まえて室内安全対策の必要性和具体的な解決方法をご紹介します。

一般社団法人 事前防災推進協会
室内安全対策部会
認定講師

畠山 広明氏 ハタケヤマ ヒロアキ

10:30～11:20

持久力強化

G510-1-1 / 会場:G510

自社のESG (環境・社会・ガバナンス)を 見える化しませんか？

※G510-2-1と同一の内容となります

SDGsは何から取り組んだらいいの？ESGの取り組みは具体的にどんなこと？という質問をお客様からいただきます。本講演では、SDGsとESGの違い、企業がESGに取り組む際のポイントをリコージャパンの実践事例を基にわかりやすくご紹介いたします。当日配布するセルフチェックシートにお客様の自社の取り組みについてチェックいただくことで、自社の事業活動をESG軸で整理し、現状と目指す姿の見える化ができます。SDGsに貢献できる具体的な取り組みのヒントを一緒に見つけましょう。

リコージャパン株式会社
経営企画本部 ESGセンター
ESG推進部
サステナビリティ推進グループ
リーダー

高橋 摩衣 タカハシ マイ

13:00～16:00

持久力強化

G510-1-2 / 会場:G510

カードゲーム「2050カーボン ニュートラル」体験会

※G510-2-2と同一の内容となります
※お申込み多数の場合は同一企業内からの
ご参加人数に制限を設ける場合がございます
※ゲームの仕様上、途中参加/退出はお控え
くださいますようお願い申し上げます

私たちがこれまで行ってきた様々な活動が、地球環境にどのような影響を与えてきたのかを、マクロ的に俯瞰すること、自らの価値観や思考に気づき、行動の変化を促す——そんな目的で作られたシミュレーションゲームが、カードゲーム「2050カーボンニュートラル」です。体験することで「なぜ今、カーボンニュートラルが求められているのか」、そして「その実現のために、私たちは何を考え、どのように行動していくべきか」といった学びや気づきを得ることができます。通常、有償のプログラムを体験会の形式で開催いたします。

リコージャパン株式会社
パブリックサービス本部 GX事業部
脱炭素ソリューション企画室
省エネソリューション企画グループ

丸山 ひかり マルヤマ ヒカリ

10:30～11:20

プロテクト強化

G602-1-1 / 会場:G602

情報セキュリティ白書から 2024年度の ホットピックを振り返る 引き続き注視したいIT・ セキュリティ課題 傾向と対策

生成AIの業務利用に潜むリスク、繰り返されるランサムウェアによる攻撃と内部不正、2025年10月にサポート終了を迎えるWindows 10からの移行、そして、経済産業省が発表した「サプライチェーン強化に向けたセキュリティ対策評価制度」への対応……。組織が次々直面するITセキュリティに関する課題と対策をご紹介します。刻々と変化するITを取り巻く環境に対し、組織はどう対処すべきなのでしょう。[SKYSEA Client View]で支援できるポイントと併せてご紹介いたします。

Sky株式会社
ICTソリューション事業部
システムサポート部
リーダー

檜崎 かよ氏 ナラザキ カヨ

12:00～12:50

プロテクト強化

G602-1-2 / 会場:G602

ゼロトラストセキュリティ、 下から見るか？ 横から見るか？ ～ゼロトラストのROIは どう考えるべきか～

ゼロトラストセキュリティが民主化してだいぶ月日が経ち弊社へのお問合せも増加しています。お客さまへの提案活動の中から見えてきたお客さま規模毎の課題感(縦軸)と、ゼロトラストセキュリティを提供するメーカーの動向(横軸)の両面から見ることによって、ゼロトラスト領域のカオスは整理することができます。本講演では、それらを整理した上で、コストと見られがちなセキュリティ対策の投資のROIをどう考えるべきかをお伝えいたします。

SB C&S株式会社
ICT事業本部 ネットワーク&
セキュリティ推進本部 販売推進統括部
ゼロトラスト推進室
テクニカル
マーケティングマネージャー

遠藤 宗正氏 エンドウ ムネマサ

13:30～14:20

プロテクト強化

G602-1-3 / 会場:G602

経産省 「セキュリティ格付制度」とは ～最新情報と素早い対応で 未来の取引を作る～

2024年4月に発表された経済産業省の「サイバーセキュリティ格付け制度」。企業がどの程度のセキュリティ対策を講じているかを5段階に分けて可視化し、サプライチェーン全体のセキュリティ強化を図ることを目的としています。本講演では制度の最新情報をお伝えし、今すぐできる対応方法を解説いたします。いち早く格付け獲得のための準備を進め、ビジネスで有利に活用しましょう。

エムオーテックス株式会社
営業本部 営業企画部
副部長

原田 洋司氏 ハラダ ヨウジ

15:00～15:50

スピード強化

G602-1-4 / 会場:G602

ISMAPと複合機の 最新動向から考える、 セキュリティと 業務効率の両立

本講演では、安全かつ効率的な業務環境の実現に向けて、複合機とクラウドサービスを連携させたスキャン利用やペーパーレスFAXの活用によるDX推進について解説いたします。また、政府情報システムのためのセキュリティ評価制度(ISMAP)への対応を踏まえ、公共・民間問わず広くクラウドサービスの選定において検討すべきセキュリティ要件や、クラウドサービスを取り入れる際に押さえておくべきポイントをわかりやすくご紹介いたします。

リコージャパン株式会社
デジタルサービス企画本部
オフィスプリンティング事業センター
ドキュメントソリューション企画室
ドキュメントソリューション企画グループ

國森 利博 クニモリ トシヒロ

11:00～11:50

柔軟性強化

G610-1-1 / 会場:G610

取材を通じて見えてきた 来々なるオフィス、 使いたくなるオフィスの創り方 ※G610-2-1と同一の内容となります

働き方を支える働く場、オフィスが進化している。コロナ禍を経て、来々なるオフィスが創られ、そこで成果を出すための、使われたいオフィスが創られている。各個人の成果の先には、企業成長に繋がるのが望ましい。オフィスで働くことは、どのような成果に結びつくのか。「らしさ」をキーワードに解説いたします。『月刊総務』の人気コーナー、「次世代オフィス・ツアー」から見えてきた、オフィスの潮流とは。

株式会社月刊総務
代表取締役社長
戦略総務研究所 所長

豊田 健一氏 トヨダ ケンイチ

12:30～13:20

筋力強化

G610-1-2 / 会場:G610

DX時代・クラウド時代の 基幹システム刷新

基幹システム入替のたびに、高い初期投資を行うことから、パッケージをそのまま利用・クラウドを利用などで、メリハリ投資を行う時代が変わって来ています。新しい選び方のポイントなどを事例を踏まえて解説いたします。「システムに合わせて業務を変える!」だけでは勿体ないが発生します。そんな勿体ないを回避する可視化などの具体的な内容にも触れる予定です。

リコージャパン株式会社
デジタルサービス技術本部
東日本DXソリューション/事業部
ITコンサルティング部
部長

吉田 敏昭 ヨシダ トシアキ

14:00～14:50

体幹強化

G610-1-3 / 会場:G610

法務人材不足を切り拓く 新たな法務アウトソーシング ～生成AI×弁護士を実装した 国内初のALSPサービスを解説～

ガバナンス・コンプライアンス・危機管理・国際取引・人権など法務領域の増加拡大から対策の必要性を迫られています。法務の人材不足も深刻化しています。解決策としてグローバルで導入拡大しているALSP(代替法律サービス事業者)が国内でも注目されています。本講演では、生成AI×弁護士(専門士業)を組み合わせたALSPサービス「クラウドリーガル」で、法務・労務相談、契約書レビュー・リーガルチェックの迅速対応や部分法務アウトソース、社内法務や顧問弁護士としての役割提供など新しい法務体制の構築法をご紹介します。

a23s株式会社
代表取締役

崎地 康文氏 サキジ ャスフミ

15:30～16:20

体幹強化

G610-1-4 / 会場:G610

人的資本経営への取り組み ～社員のチャレンジと成長を促進する プロフェッショナル認定制度について～

企業経営における「人」の重要性が高まる中で、人材戦略は企業業績を左右すると言っても過言ではありません。リコージャパンでは、様々な社会変化を受け入れ、デジタルサービス企業として顧客の成長と課題解決にむけた人材育成に挑戦しています。その中核となる「プロフェッショナル認定制度」では、全社員プロ化を掛け声に定期的なスキル定義を行い、全職種の「プロレベル顕在化」に取り組んでいます。本講演では、社員のチャレンジと成長を促進するプロフェッショナル認定制度の、今までの経緯や取り組みをご紹介します。

リコージャパン株式会社
人事・コーポレート本部 人事センター
プロ化推進部
部長

前川 和弥 マエカワ カズヤ

11:30～12:20

筋力強化

G701-1-1 / 会場:G701

「生成AI導入の成功法則」 100社の実績から見る 実践的アプローチ」

弊社が100社以上の企業に生成AIソリューションを提供して得た実績を基に、生成AIとAIエージェントの導入戦略を探ります。成功事例を通じて、企業が直面する課題や解決策、導入プロセスの具体的なステップを解説。特に、データ活用の重要性に焦点を当て、AIエージェントがどのようにデータを駆使して意思決定を支援し、業務の自動化や顧客体験の向上を実現するかをご紹介します。経営層の皆様にとって、戦略的なビジョンを構築するための実践的な知見をご提供いたします。

JTP株式会社
ソリューション事業本部
取締役副社長

為田 光昭氏 タメダ ミツアキ

13:00～13:50

筋力強化

G701-1-2 / 会場:G701

生成AIによるDX加速 ～社内実践と活用事例～

AI技術の進化により、業務効率化にとどまらず、新たな価値の創出や競争力の強化といった観点からも、AI活用は重要な経営施策となりつつあります。多くの企業が、ビジネスの成長戦略にAIをどう組み込むかに高い関心を寄せています。本講演では、生成AIの最新技術や国内外の導入動向を踏まえ、業務効率化・生産性向上を実現する導入戦略に加え、DXを加速する全社的なデータ活用のあり方について、弊社の実践事例を交えてご紹介いたします。

リコージャパン株式会社

リーダー
井上 敦貴 イノウエ アツキ

リーダー
野寺 和花 ノデラ ワカ

14:30～15:20

筋力強化

G701-1-3 / 会場:G701

AIエージェント 開発ツール「Dify」で 未来の働き方を探る!

リコーの活用アイデア・実践事例をご紹介します
※G701-2-4と同一の内容となります

昨今、生成AIの企業の中での推進・検討は既に91%の企業が進めており、生成AIを業務の中で使用することは当たり前の時代になってきます。そのような状況の中で「AIエージェント」というキーワードが話題となっており、生成AIを活用したAIアプリ・AIエージェント開発をノーコードで開発できるツールとして「Dify」が注目を集めています。本講演では、「Dify」によってAIアプリ・AIエージェントをどのように業務で活用していくか、リコー内の市民開発のアイデアや実践事例を交えてご紹介いたします。

リコージャパン株式会社
デジタルサービス企画本部
AIサービス事業センター
AIソリューション/販売統括室
技術支援グループ

松井 雄一郎 マツイ ユウイチロウ

16:00～16:50

筋力強化

G701-1-4 / 会場:G701

DX推進を加速する 業務プロセス変革 ～Power Platformの活用～

クラウドシフトが進む中、ローコードプラットフォームの技術を用いて社内業務のデジタル化が進んでいます。本講演では、現場の業務プロセスを可視化・分析し、Power Platformを活用して改善に導くアプローチをご紹介します。現場アンケートやワークショップを通じた業務の見える化から、ボトルネックの特定、改善後の効果予測まで、データに基づいた合理的な業務改革について、実際の導入事例を交えながらご紹介いたします。

リコージャパン株式会社
デジタルサービス技術本部
クラウドビジネス事業部
首都圏第一クラウドソリューション部
第3グループ

織戸 龍昇 オリト タツアキ
清水 幸太郎 シミズ コウタロウ

テーマ別セミナー

事前予約制

Day.2 — 7.2 Wed

10:00～10:50

持久力強化

G502-2-1 / 会場:G502

**脱炭素社会の実現に向けた
リコグループの
取り組みとご提案**
～社内実践を踏まえた
脱炭素伴走支援のご紹介～

昨今、多くの企業にとって脱炭素は避けては通れないテーマになりました。一方で、企業にとっては「何から手をつければ良いかわからない」「社内の人材が不足している」など、脱炭素経営を進めていく上での問題も山積しています。本講演では、脱炭素経営が求められている背景や近年の潮流を概観した上で、このような困りごとを抱える企業様にとって役立つ、リコジャパンでの実践事例をご紹介しますとともに、脱炭素伴走支援の取り組みや具体的な脱炭素ソリューションもご紹介いたします。

リコジャパン/株式会社
パブリックサービス本部 GX事業部
脱炭素ソリューション企画室
省エネソリューション企画グループ
エキスパート
米田 和央 ヨネダ カズヒロ

11:30～12:20

スピード強化

G502-2-2 / 会場:G502

**業務革新へのDX化
チャレンジと未来**
～業務オペレーション課題と解決策、
そしてDX化の道～

リコジャパン業務革新センターのDXを活用した業務改善の取り組みは、業務オペレーションの効率化と人的リソースの有効活用の成果につながっています。バックオフィスにおける業務課題は、業種業態に関わらず、多くの会社にて共通の悩みを抱えておられると考えております。本講演では、DXの導入に伴う、バックオフィスにおける業務課題の解決策、そしてDX化の道について、私たちの社内実践事例を交えて解説いたします。我々、業務革新センターは、これからも持続可能な未来を目指し、さらなるチャレンジを続けて参ります。是非、ご参加ください。

リコジャパン/株式会社
人事・コーポレート本部
業務革新センター 回収業務部
部長
真正 周子 シンショウ チカコ

13:00～13:50

最新技術

G502-2-3 / 会場:G502

**VUCA時代に挑む
リコグループの
成長戦略と、未来を見据えた
社会課題への取り組み**

現代は気候変動による異常気象や大規模災害、AI技術の急速な進化、さらには社会・経済の不確実性の高まりにより、予測困難な「VUCA」の時代となっています。VUCA時代を乗り越え、お客様の、そして社会全体の「はたらくに喜びを」を実現するために、リコグループが取り組む新規事業やスタートアップ企業とのオープンイノベーション、コア技術の進化の事例をご紹介します。未来に向けたビジョンと社会課題解決の取り組みへの想いをお伝えするとともに、皆様と共に新たな未来に向けて何をすべきか一緒に考えてまいりましょう。

株式会社リコ
室長
佐々木 俊英 ササキトシヒデ
西中 裕一郎 ニシナカ ユウイチロウ
瀧居 真梨子 タキイ マリコ
森久 泰二郎 モリヒサ タイシロウ

14:30～15:20

筋力強化

G502-2-4 / 会場:G502

**「“全社で取り組む”
DXのすすめ方」**
——リコジャパンの
変革ビジョンと現場との向き合い方

リコジャパンでは、デジタルサービス会社への変革のため、DX委員会を中心に経営・現場・ITが連携する体制を整えてきました。レガシーシステムの刷新や業務のデジタル化を通じて、データの蓄積・活用環境を整え、現場とともに仕組みを育てる実践を重ねています。本講演では、社内実践について、ビジョンの共有、現場との向き合い方、組織としての取り組みを交えてご紹介いたします。また、自社の実践で得た知見をもとにお客様へのご提案にどのようにつながっているのかもご紹介いたします。

リコジャパン/株式会社
デジタルサービス企画本部
アプリケーションサービス事業センター
スクラム企画室 流通グループ
荒井 亜祐美 アライ アユミ

16:00～16:50

柔軟性強化

G502-2-5 / 会場:G502

「出社が、楽しみになる日。」
社員同士のつながりを取り戻す
“はたらく”のウェルビーイング

働き方の多様化が進むなかで、社員のウェルビーイングを支える“環境”の重要性が高まっています。本講演では「出社が、楽しみになる日。」をキーワードに、人と人のつながりを生むワークプレイスの再構築に迫ります。リコが空間×デジタル×共創でそれを実現するノウハウをお伝えいたします。

リコジャパン/株式会社
デジタルサービス企画本部
ワークプレイスエクスペリエンス事業センター
スマートハドル企画室
スマートハドル企画グループ
熊谷 寛子 クマガエ ヒロコ

10:30～11:20

持久力強化

G510-2-1 / 会場:G510

自社のESG (環境・社会・ガバナンス)を 見える化しませんか？

※G510-1-1と同一の内容となります

SDGsは何かから取り組んだらいいの？ESGの取り組みは具体的にどんなこと？という質問をお客様からいただきます。本講演では、SDGsとESGの違い、企業がESGに取り組む際のポイントをリコージャパンの実践事例を基にわかりやすくご紹介いたします。当日配布するセルフチェックシートにお客様の自社の取り組みについてチェックいただくことで、自社の事業活動をESG軸で整理し、現状と目指す姿の見える化ができます。SDGsに貢献できる具体的な取り組みのヒントを一緒に見つけましょう。

リコージャパン株式会社
経営企画本部 ESGセンター
ESG推進部
サステナビリティ推進グループ
リーダー

高橋 摩衣 タカハシ マイ

13:00～16:00

持久力強化

G510-2-2 / 会場:G510

カードゲーム「2050カーボン ニュートラル」体験会

※G510-1-2と同一の内容となります

※お申込み多数の場合は同一企業内からの
ご参加人数に制限を設ける場合がございます
※ゲームの仕様上、途中参加/退出はお控え
くださいますようお願い申し上げます

私たちがこれまで行ってきた様々な活動が、地球環境にどのような影響を与えてきたのかを、マクロ的に俯瞰すること、自らの価値観や思考に気づき、行動の変化を促す——そんな目的で作られたシミュレーションゲームが、カードゲーム「2050カーボンニュートラル」です。体験することで「なぜ今、カーボンニュートラルが求められているのか」、そして「その実現のために、私たちは何を考え、どのように行動していくべきか」といった学びや気づきを得ることができます。通常、有償のプログラムを体験会の形式で開催いたします。

リコージャパン株式会社
パブリックサービス本部 GX事業部
脱炭素ソリューション企画室
省エネソリューション企画グループ

丸山 ひかり マルヤマ ヒカリ

10:30～11:20

プロテクト強化

G602-2-1 / 会場:G602

セキュリティ被害急増！ 防ぎきれない サイバー攻撃の対処法

～被害最小化のための
効果的なセキュリティ対策～

デジタルトランスフォーメーション(DX)により、企業のデジタル化が急速に進展する一方で、ネットワークセキュリティの脅威も同様に増加しています。本講演ではその脅威に対処し、ビジネスを継続させるうえで重要な手段となる多層防御の再確認と多様化・巧妙化し防ぎきれないサイバー攻撃に対し、侵入された後の事後対応に焦点を当てた対策ソリューションについてをご紹介します。

リコージャパン株式会社
デジタルサービス企画本部
ITサービス事業センター
ITサービス企画室
ネットワークセキュリティグループ

高橋 直也 タカハシ ナオヤ

12:00～12:50

プロテクト強化

G602-2-2 / 会場:G602

自社のセキュリティ対策は 大丈夫？

～セキュリティリスクの
可視化からはじめる次の一手～

サイバー攻撃の巧妙化・高度化により、企業が直面する脅威は益々高まっています。このような状況下でセキュリティ対策強化を講じる中、直面する課題や検討すべき領域は多岐にわたります。そのために、まずは企業内に潜むセキュリティリスクを把握することが重要です。本講演では、企業のセキュリティリスク可視化の重要性と対策強化についてご説明いたします。

株式会社PFU
インフラ・サービス&
インテグレーション事業本部
第一インフラマネージメントサービス事業部
ネットワークセキュリティ部

セキュリティエバンジェリスト

福島 則哲 フクシマ ノリアキ

13:30～14:20

プロテクト強化

G602-2-3 / 会場:G602

中国アジアのITのリアルと 対策の方向性

中国アジアのグループ会社のITの状況が手に乗っていらっしゃらないお客様、意外に多くいらっしゃいます。Firewall、AVシステムが未導入、Windows 7を未だに使用している、挙句の果てにランサムウェア感染…こういった、日本では考えられない状況、これが、中国アジアのITのリアルです。本講演では、弊社が経験した中国アジアのITのリアルとその対策について、事例を交えてご紹介いたします。

リコージャパン株式会社
エンタープライズ事業本部
事業統括センター RGSJ
グローバルDX支援グループ
リーダー

小野寺 洋一 オノデラ ヨウイチ

15:00～15:50

プロテクト強化

G602-2-4 / 会場:G602

「リスク認識」から始まる 「セキュリティ対策 評価制度(格付)」への備え

2024年、経済産業省は、中小企業を含めたサプライチェーン全体のセキュリティ対策底上げを目的として、「セキュリティ対策評価制度(通称:格付)」の構築を発表しました。私たちは、この制度がなぜ必要なのか?どんな内容なのか?を理解し、また、自組織は、どこを目指すのか?どんな対策を進める必要があるのか?を決めていかなければなりません。そもそも「リスクとは?」「情報セキュリティとは?」という基本を踏まえ、対策を計画し、制度施行に備える「考え方」をご紹介します。

リコージャパン株式会社
人事・コーポレート本部
人材開発センター 能力開発企画室
情報セキュリティコンサルティンググループ
リーダー

芦田 隆太郎 アシダ リュウタロウ

11:00～11:50

柔軟性強化

G610-2-1 / 会場:G610

取材を通じて見てきた 来々なるオフィス、 使いたくなるオフィスの創り方

※G610-1-1と同一の内容となります

働き方を支える働く場、オフィスが進化している。コロナ禍を経て、来々なるオフィスが創られ、そこで成果を出すための、使われたいオフィスが創られている。各個人の成果の先には、企業成長に繋がることが望ましい。オフィスで働くことは、どのような成果に結びつくのか。「らしさ」をキーワードに解説いたします。『月刊総務』の人気コーナー、「次世代オフィス・ツアー」から見てきた、オフィスの潮流とは。

株式会社月刊総務
代表取締役社長
戦略総務研究所 所長

豊田 健一氏 トヨダ ケンイチ

12:30～13:20

体幹強化

G610-2-2 / 会場:G610

Well-beingで叶える 組織パフォーマンスの向上

DXやAI、人手不足が進み、私達にはチャレンジや変化が求められています。そんな時代に、人の力を最大限に発揮し、チャレンジを加速する一助となるWell-being が注目されています。ある調査では、Well-beingが高いと、創造性・生産性・売上が3倍高く、離職率・欠勤率が下がるという結果が出ています。本講演では、Well-beingの概要、効果、リコー・ジャパンの取り組み、講師が行った様々な施策、取り組んで分かった推進のポイント等を、リアルな体験談としてご紹介いたします。

リコー・ジャパン株式会社
人事・コーポレート本部
人材開発センター 能力開発企画室
室長

辻井 菓子 ツジイ ヨウコ

14:00～14:50

体幹強化

G610-2-3 / 会場:G610

スポーツチームから学ぶ チームビルディングと リーダーシップ

「成功循環モデル」や「プロジェクト アリストテレス」では、関係性の質や心理的安全性を高めることが結果や生産性向上に繋がるかと提言しています。一方、これらの考えに則り実践しているにも関わらず成果、生産性向上に繋がらず悩まれている管理職者は多いのではないのでしょうか。本講演では、ラ・リーガ ビジャレアルCFといった、成果を出し続けているスポーツチームの事例から自己認識力とは何か、そしてその高め方についてご紹介し、広く組織開発、人材育成について考えていきたいと思います。

リコーブラックラムズ東京
クラブ・ビジョナリー・オフィサー
ビジネス・ブレイクスルー大学
非常勤講師

白崎 雄吾 氏 シラサキ ユウゴ

15:30～16:30

体幹強化

G610-2-4 / 会場:G610

企業と社員の 関係性を高める エンゲージメント施策とは？ ～「学びの場」と「働く場」の再設計～

人材不足や採用難が深刻化する中、「エンゲージメント」は解決の鍵です。社員のエンゲージメント向上には、企業と社員の関係性強化が不可欠であり、「学びの場」と「働く場」の再設計が重要です。本講演では、社員が主体的に学び続ける環境づくりや、オンラインとオフラインを活用した学びのハイブリッド化を解説。さらに、創造性を引き出し、チームの連携を深めるオフィス環境設計や、多様な働き方に対応した職場づくりの具体策をご紹介いたします。成功事例を交え、社員の成長と働きがいと両立させるヒントをお届けいたします。

株式会社タナベコンサルティング
執行役員
HRコンサルティング事業部

盛田 恵介 氏 モリタ ケイスケ

11:30～12:20

筋力強化

G701-2-1 / 会場:G701

AIを活用した業務プロセス 最適化の社内実践

リコーでは「プロセスDX」という活動のもとで独自のBPM(Business Process Management)を進めてきています。デジタルありきではなく、業務や作業を可視化してプロセスを最適化した上でデジタルを活用することにごこだわっており、そのような業務プロセスの重視によってAIの活用が容易になり、プロセス自動化やオーケストレーションを実現できるようになっています。本講演ではこれら社内実践の具体的な活動内容をご紹介いたします。

株式会社リコー
デジタル戦略部 プロセス・IT・データ統括
プロセスDX開発室
室長

塩谷 晴久 ショヤ ハルヒサ

13:00～13:50

スピード強化

G701-2-2 / 会場:G701

リコー・ジャパンの 営業プロセス改革実践事例 ～自社開発のSFA/CRMを Dynamics365へ全面刷新～

20年前に自社開発した営業支援システムは、ユーザビリティの高い仕組みとして社内に浸透していました。一方で、モノ売りからサービスプロバイダーへの事業変革に対応しづらいものとなり、システムの複雑化や改修コストの高騰、AI活用など新しいチャレンジの余地がなくなるなど、多くの問題が顕在化いたしました。本講演では、カスタマーサクセスと生産性向上の実現に向けた営業プロセス改革、CloudFirst/FitToStandardの考えに基づいたシステム構造改革の取り組みについて、苦労した点などを含めてご紹介いたします。

リコー・ジャパン株式会社

室長
池田 和弥 イケダ カズヤ

室長
長井 誠 ナガイ マコト

14:30～15:20

筋力強化

G701-2-3 / 会場:G701

生成AIで変わる ビジネスの未来 ～限られたリソースで 最大の効果を得る企業戦略～

生成AIは業務効率の飛躍的な向上や新たな価値創出の可能性を秘めており、企業の在り方を根本から変えつつあります。限られた人材や時間といったリソースを最大限に活かしながら、生成AIを活用して成果を上げるために、リコーの実践事例やお客様事例を交えてご紹介いたします。最新のトレンドや明日からすぐに活かせる実践知識を、デモを通じてご体感いただけます。

リコー・ジャパン株式会社
デジタルサービス企画本部
AIサービス事業センター
AIサービス販売統括室 販売推進グループ

中原 慎太郎 ナカハラ シンタロウ

16:00～16:50

筋力強化

G701-2-4 / 会場:G701

AIエージェント 開発ツール「Dify」で 未来の働き方を探る！ リコーの活用アイデア・実践事例をご紹介 ※G701-1-3と同一の内容となります

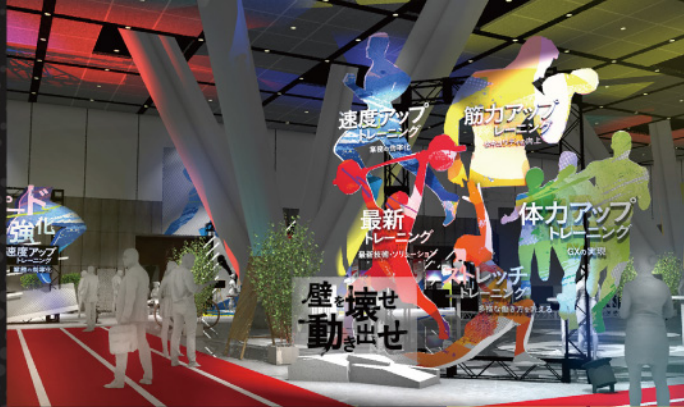
昨今、生成AIの企業の中での推進・検討は既に91%の企業が進めており、生成AIを業務の中で使用することは当たり前の時代になってきます。そのような状況の中で「AI エージェント」というキーワードが話題となっており、生成AIを活用したAIアプリ・AI エージェント開発をノーコードで開発できるツールとして「Dify」が注目を集めています。本講演では、「Dify」によってAIアプリ・AI エージェントをどのように業務で活用していくか、リコー内の市民開発のアイデアや実践事例を交えてご紹介いたします。

リコー・ジャパン株式会社
デジタルサービス企画本部
AIサービス事業センター
AIソリューション販売統括室
技術支援グループ

松井 雄一郎 マツイ ユウイチロウ

Exhibition

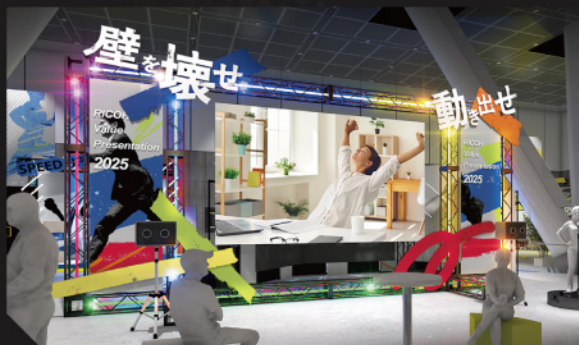
ここでは、ビジネス力を鍛え抜く「トレーニングジム」。皆さまが直面する課題に向き合い、社会課題の“壁”を突破するヒントをお届けいたします。業務効率化、セキュリティ、働き方改革、デジタル化とDX推進、人的資本経営、SDGsとESG、そして最新技術の7つのゾーンで、貴社の変革に向けたトレーニングに、伴走いたします。



Main stage 会場内メインステージ

DX&GX~AI“壁を壊せ 動き出せ”

企業成長のカギを握るのは、
社会課題との向き合い方。



気候変動、人口減少、働き方の変化——いま企業が直面しているのは、かつてないほど複雑で大きな“壁”。しかし、そんな課題も視点を変えれば、DXやGX、さらにはAIといったテクノロジーで解決への道筋が見えてきます。私たちは、自社での実践を通じて、そのヒントを数多く発見してきました。このステージでは、そんな私たちの実践事例とともに、気づきを共有し、皆様の課題に「伴走」しながら、解決への道につながる有意義な情報をお届けいたします。



「スピード強化」 業務プロセスの効率化

企業運営を支える業務の効率化と、現場のプロセス改善に取り組むゾーンです。日々の業務をもっとスムーズに、もっとスピーディに変えていくためのヒントとなる最新ソリューションをご紹介します。ムダをそぎ落とし、企業全体の「スピード」を高めていくトレーニングに、一緒に取り組みましょう。



「プロテクト強化」 セキュリティリスクへの対応

サイバー攻撃や情報漏えいなど、日々高まるセキュリティリスクに立ち向かう「防御力」を鍛えるゾーンです。企業が今取り組むべき最新のセキュリティ対策やリスク管理の考え方をご紹介します。安心・安全なビジネス環境を築くために、私たちと一緒に「守り」を強化するトレーニングを始めましょう。



「柔軟性強化」 働き方改革への対応

時代や環境の変化に合わせて、働き方もアップデートしていく時代。柔軟で強い組織を目指すためのゾーンです。場所を選ばない働き方を支えるコミュニケーションの工夫や、オフィス環境の見直し、勤怠管理の最適化など、生産性と働きやすさを両立するヒントをご紹介します。変化にしなやかに対応する「柔軟性」を、一緒に鍛えていきましょう。



「筋力強化」 デジタル化とDX推進

AIの力で、ビジネスの「筋力」を強化するゾーンです。業務プロセスの可視化や、データ活用などを通じて、DXをより現実的に、より加速的に推進する最新のアプローチをご紹介します。DXを前に進めるための手段として、AIをどのように活用するか——そのヒントとなるトレーニングをご体感ください。



「体幹強化」 人的資本経営

組織の土台を支える「人」にフォーカスし、人的資本経営を強化するゾーンです。採用・育成・定着・評価・エンゲージメントなど、人材戦略の最適化に向けた最新のアプローチをご紹介します。企業の持続的成長に欠かせない、しなやかで強靱な「体幹」を、一緒に鍛えていきましょう。



「持久力強化」 SDGs/ESGへの取り組み

変化の激しい時代に、持続可能な未来へと走り続ける「持久力」を鍛えるゾーンです。私たちのSDGs・ESGへの取り組みをはじめ、脱炭素経営を支えるソリューションや伴走支援サービスをご紹介します。環境・社会・ガバナンスに配慮した経営で、企業価値を未来へつなぐ力を、一緒に鍛えていきましょう。



「最新技術」

社会課題の解決に向けて、新たな可能性を切り拓くゾーンです。スタートアップとの共創や、新規事業の挑戦、長年培ってきたコア技術の進化を通じて生まれた、最先端のソリューションをご紹介します。社会課題の解決に向けた私たちの挑戦が、皆さまの次の一步を支えるヒントになれば幸いです。

事前予約方法のご案内

イベントはオンラインサイトからの事前申し込み制となっております
人気が予想される講演はお早めのご予約をお願いいたします



詳細はこちら ▶

<https://vpri.ricoh.co.jp/tokyo/lp/>

申し込み開始 2025.5.14 Wed 10:00~

2025年11月に大阪・名古屋でも開催が決定いたしました

大阪会場

グランフロント大阪 2025.11.6 Thu - 7 Fri

名古屋会場

吹上ホール 2025.11.18 Tue - 19 Wed

紹介者コード

紹介企業/パートナーコード

パーソナル診断を実施します!!

申し込み時に入力いただいた情報から、
パーソナル診断を行います。
あなたの課題解決にフィットする
トレーニングコンテンツを探す参考となります。
診断結果は入場票を兼ねていますので
イベント当日にお持ちください。

※画像はイメージです

開催会場へのご案内

開催場所: **東京国際フォーラム**

東京都千代田区丸の内3丁目5番1号

- JR線 ■ 有楽町駅より徒歩1分
■ 東京駅より徒歩5分(京葉線東京駅とB1F地下コンコースにて連絡)
- 地下鉄 ○ 東京メトロ有楽町線 有楽町駅とB1F地下コンコースにて連絡
○ 東京メトロ日比谷線 銀座駅より徒歩5分/日比谷駅より徒歩5分
○ 東京メトロ千代田線 二重橋前駅より徒歩5分/日比谷駅より徒歩7分
○ 東京メトロ丸ノ内線 銀座駅より徒歩5分
○ 東京メトロ銀座線 銀座駅より徒歩7分/京橋駅より徒歩7分
■ 都営三田線 日比谷駅より徒歩5分



※QRコードは、(株)デンソーウェーブの登録商標です。※Windows、Power Platformは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。※kintoneはサイボウズ株式会社の登録商標です。
※SKYSEA Client Viewは、Sky株式会社の登録商標または商標です。※本誌に掲載のその他の会社名および製品名、ロゴマークは各社の商号、商標または登録商標です。